18. 瞑想 Meditation

あらゆるものに注意を向けなさい。「大きい」、「小さい」はありません。すべてに神性があります。
あらゆるところにあなたは神を見出すことができるのです。

ある期間修行してきた弟子が一休に会いにきた。雨が降っていたので、なかに入るときに彼は履物と傘を外に置いた。
彼が挨拶をし終えると、一休は履物のどちら側に傘を置いたのかとたずねた。
さあ、なんという問だろう……？ あなたは、マスターが神について、クンダリーニの上昇、チャクラの開き具合、あなたの頭のなかで起こっている光についてたずねるのを期待する！ だが、一休はごくありふれた問いだが、そのなかには途方もなく価値のあるなにかがある。その問いには意味がある。その弟子は思い出せなかった――自分の履物をどこに置き、傘をどちら側に置いたか、誰が気にするだろう?
だがそれで充分だった――その弟子は拒絶された。一休は言った。「そうであれば、行ってさらに七年間瞑想するがいい」

「七年！」その弟子は行った。「このささいな落ち度のために？」
「落ち度に大小はない」一休は言った。「お前はまだ瞑想的に生きていない。ただそれだけだ」

これはささいなことで、あれは非常に、非常にスピリチュアルなことだと、ものごとの間にちがいを設けてはいけない。注意を向けるがいい。気をつけるがいい。そうすればあらゆることがスピリチュアルになる。もし注意

霊性はあなたによって分け与えられるもの、それは世界へのあなたの贈り物だ。一休のようなマスターが自分の傘に触れると、その傘は、あらゆるものがそうでありうるのと同じように神性を得る。瞑想的なエネルギーは錬

TAKE IT EASY, Vol.2, pp.488-491

Revision #4
Created 4 October 2024 06:00:57 by ゆう
Updated 24 October 2024 06:42:27 by ゆう